

三十八人の頭髮検査

水俣病の予知に実施

頭髮に含まれる水銀量の測定によつて水俣病を予知するため、熊本

県、水俣市、熊大研究陣三者の間で、このほどその実施方法を協議した結果、二月中に患者の家族三百八人と、とくに熊大側の希望で天草郡御所浦村の漁協組合員十人、合わせて三百十八人を調べる

ことになった。

検査は一人当たり二つの頭髮を根元から切り、熊大で分析する。熊大では水銀含有量の危険度が百PPM以上であるか、または二百PPMを越えた場合かについて、まだ結論が出ていないといわれ、こんどの検査で危

険度の基準が決まるものとみられる。

経費は厚生省が熊大に割り当てた三十四年度の調査研究費から支出される。県はこの経費を三十五年度当初予算案には組んでいないが今回の検査結果しだいでは追加予算に計上する考えである。